

“豪商のまち松阪”を考える市民交流会

【日 時】平成 27 年 6 月 6 日（土） 午後 6 時 30 分～午後 9 時 00 分

【場 所】松阪市市民活動センター 大会議室

【参加者】一般参加者 22 人、推進委員 10 人、事務局他 12 人

1. 開会：東村委員

2. 松阪活き生きプラン推進委員会委員長挨拶：高島信彦委員長

みなさん、こんばんは。お疲れのところお集まりいただきましてありがとうございます。「豪商のまち松阪”を考える市民交流会」で皆さんの意見をいただこうということで、みなさんご存知かと思いますが、この中心市街地 170ha のまち



づくりについては、官民協働で行っていることをご理解いただきたいということと、毎年発表会を行っていますが、今年は少し趣向を変えて「みなさんのご意見をいただこう」ということでこのような形での開催となりました。

「歴史」「住」「商」というテーマがありますが、みなさんにどしどしご意見を頂いて、この中心市街地が活性化する、人の流れも賑やかになる、住み心地のよいまちを作っていく材料にした

いと思っておりますので、今日は忌憚のないご意見を言っていただけたらと思っております。本日、となりに是非常にお忙しい市長さんも座っております、市長さんも同席いただいて、一緒に考えていただきますので、市長さんに対してのご意見等もいただけたらいいなと思っております。本日はよろしく願いいたします。

3. 松阪市長挨拶： 山中光茂市長

みなさん、こんにちは。今日、朝から飯南の産業文化センター400人ほど収容可能な施設である中で立ち見が50人ほど出て、満席の状況でまちづくり協議会の発表会がありました。



14のまちづくり協議会と6つの市民活動団体の発表で、この近くでは松阪中央住民協議会も発表していただきました。本当に各地域の取り組み発表をずっと聞いていても飽きなかったです。各地域の取り組みを発表しているのも楽しそうですが、活動しているのも楽しいということで43のまちづくり協議会が活動しているということを今日1日感じて、まだ余韻が残っている中でこちらに参加させていただいております。伊勢志摩サミットの開催も決定いたしました。松阪市においては、サミットが開催されるかどうかに関わらず、観光交流拠点の整備やそれ以前においても高島委員長を中心にまちなか再生していこうという思いの下に、1ヶ月に1回程度まちづくりをどうするかを議論するために集まってきました。その後、観光交流拠点の整備、三越の誘

致のあり方の話があり、そして昨日は本居宣長記念館リニューアルのための公開プレゼンテーションもございました。これから全体としての観光まちづくりの原点が動き出していく中で、みなさんからご意見をいただくこと、発想いただくことが具体的にこの街の未来につながると思います。観光交流拠点などの今後のまちづくりが進んできた頃が、伊勢志摩サミット後かと思われ、世界にPRを行った後ということもあり、とても重要な時期であると思います。平成28年1月には豪商ポケットパークもできますし、これからまちなか再生のなかで色々なスタートを切っていけると考えているところでございますので、それに向けて、また、地道なまちづくりに向けて本日のワークショップで多様なご意見をいただけることを期待しております。よろしくお願い申し上げます。

4. “豪商のまち松阪”活き生きプランの紹介と平成26年度の活動報告



1. 『“豪商のまち松阪”活き生きプラン』の内容

- ・官民連携で行うアクションプラン
- ・期間 平成25年度 ～ 平成28年度
- ・テーマは「歴史」「住」「商」
- ・中心市街地のエリア紹介
- ・理念と基本目標

2. 『“豪商のまち松阪” 生き生きプラン』 具体的施策と活動報告

【歴史】 (方向性) 歴史・文化を体感し、次世代に継承する。

(1) 松坂城跡を中心とした武家地のまちづくり

- ①国指定史跡松坂城跡の整備
- ②歴史的人物の顕彰
- ③武家地の景観保全

【活動報告】

- ⇒氏郷ウォークを開催
- ⇒松坂城跡周辺地区を景観重点地区に指定

(2) 豪商と国学者が生きづくまちづくり

- ①旧長谷川邸の保存・活用
- ②旧長谷川邸の文化財調査
- ③観光交流拠点施設の整備
- ④魚町別館の取り壊しと跡地活用
- ⑤大手通りの道路整備

【活動報告】

- ⇒旧長谷川邸フリー公開を実施
- ⇒観光交流拠点施設等の整備に向けた基本計画を作成

(3) 食と歴史が織りなすまちなか観光づくり

- ①歩いて楽しいまちなか観光の推進
- ②まちなか観光と鈴の音バスの連携
- ③観光客にわかりやすいサインの整備
- ④観光客をおもてなす受け皿づくり
- ⑤魅力いっぱいの観光PR

【活動報告】

- ⇒子ども「国学ツアー」を開催
- ⇒鈴の音バス みどころすたんぷを作成

【住】 (方向性) 住み心地のよい豊かな暮らしを实践する。

(1) 人の和が広がるまちづくり

- ①地域コミュニティの充実
- ②住民協議会による地域まちづくり

【活動報告】

- ⇒松阪市制施行10周年記念事業式典において、住民協議会が活動報告・体験コーナーを出展

(2) 住みやすい環境づくり

- ①快適な環境づくり
- ②環境美化に対する啓発

【活動報告】

- ⇒愛宕川・神道川の清掃を実施
- ⇒「松阪市みんなでまちをきれいにする条例」を施行

(3) 安全・安心なまちづくり

- ①地域防災活動の充実
- ②ゾーン30の設定

【活動報告】

- ⇒災害時協力井戸の登録を実施
- ⇒「ゾーン30」を設定

【商】 (方向性) おもてなしで千客万来の商店街にする。

(1) 魅力ある店づくり

- ①お客様に愛される店づくり
- ②わが店のPR
- ③担い手の育成

【活動報告】

- ⇒まつさかまちゼミを開催
- ⇒まちなか開業塾を開催

(2) 連動する商店街づくり

- ①地域との交流を図る取り組みの強化
- ②商店街の情報発信
- ③空き店舗対策と店舗の再生
- ④商店街振興施設の充実

【活動報告】

- ⇒木綿街道「コットン・ロード」プラン 木綿の苗植えを実施
- ⇒「松阪あきないまっぷ」を作成

(3) 商店街と駅周辺の顔づくり

- ①魅力ある店舗等の誘致
- ②松阪駅周辺の土地利用の検討

【活動報告】

- ⇒三井越後屋誘致推進プロジェクトが始動

***松阪活き生きプラン推進委員会の取り組み**

- ⇒“豪商のまち松阪”活き生きシンポジウムを開催

5. ワークショップ

【歴史】班、【住】班、【商】班の3つの班に分かれて、それぞれのテーマで、課題・問題点やアイデア・取り組みを考え、各班でまとめて発表していただきました。



● 「歴史」班 ワークショップ意見

【課題・意見】

- ・ 駐車場が少ない
- ・ 駐車場の確保
- ・ 歴史拠点、駐車場としてのカリヨンの活用
- ・ 歴史的なところがたくさんありますが、バスを受入れできる駐車場がない
- ・ 本物を見せる
- ・ オンリーワンのアピールがない
- ・ パワースポットの発掘
- ・ 歴史に埋もれた人物、場所のあらいだし
- ・ 松阪らしさを分かりやすく表現できるものがたくさん欲しい
- ・ 松阪から出たお宝（たとえば大判小判）を活用し、歴史と絡めた松阪のPRができないか
- ・ 市民参画のありかた
- ・ 観光協会や各種団体の参画のあり方
- ・ 入館者数が少ない
- ・ 訪問者やリピーターの確保
- ・ 案内、ルートの充実
- ・ 地元の人知らない
- ・ 次世代への継承
- ・ 文化財を粗末にする風潮
- ・ 松阪市民の関心確保と拡大
- ・ 歴史と食の連携・活用
- ・ 本居記念館とお城（桜松閣）が有効利用されていない
- ・ 歴史施設を楽しんで歩けるような動線が必要
- ・ 施設の連動性が低い
- ・ 都市計画、文化、観光がバラバラ



- ・学校教育との連携
- ・エリアについて、まちなかの設定を再検討

【アイデア】

- ・カリヨンパーキングを有効活用する
- ・外国人観光客確保（女性は松阪もめん、男性は兜でコスプレ、写真撮影）
- ・中心市街地に拘らない宝物さがしとPR
- ・学校で文化財や文化遺産の学習、大切さを教える
- ・歴史的な施設を廻って、お得感のある周遊券のようなものがあるといい
- ・松阪通行手形で大連携させる
- ・全体を一つのものにして、しっかりした計画化を
- ・「歴史まちづくり法」の認定計画を提案
- ・旧長谷川邸は国の重要文化財になるもの、松坂城跡や御城番屋敷と一体的に
- ・異種の連携（例）歴史と自然
- ・松坂城跡整備計画を急ぐ
- ・無形文化財、まつり等との連携
- ・年中行事の利用（旧長谷川邸）
- ・愛宕町や橋西（鈴の森）、文化財センターをエリアに含める

●「住」班 ワークショップ意見

【課題・意見】

- ・松阪駅に特色がない
- ・駅前にホテル増えた
- ・松阪駅前の第三銀行本店を移転する
- ・松阪駅前ロータリーの牛が小さい
- ・以前に比べて、飲食店が増えた
- ・駅前は最近元気
- ・ゴミが少ない
- ・道路がきれいになった
- ・歩道が少ない
- ・自転車用道路がない
- ・朝、夕の交通量が多い
- ・休める場所がない
- ・防災上道路が狭い、組織の弱体化
- ・治安がいい
- ・治安悪化によるスラム街化（を懸念）
- ・観光における人の出入りが多くなった



- ・人はやさしい
- ・緑や花が少ない
- ・空き家、空き店舗の増加
- ・子育て支援、3人目以降は増額でお金を支給
- ・子どもの減少で、まつり等の伝統行事（開催）に苦心するところが多い
- ・この中心区域に人が住むように
- ・住民の少子高齢化
- ・神道川下流にきわめて汚くなっている心配
- ・下水道未接続がまだまだ多くある
- ・買い物難民の発生
- ・店に住んでいる人が少ない（？）
- ・特に夜は人通りが少ない
- ・地元住民の往来が無い
- ・他の街と同じ建物
- ・路上での禁煙はいいと思う

【アイデア】

- ・市内の焼き肉店を集約する
- ・木造駅舎
- ・駅を丘、公園ステーションにして牛を放す
- ・駅前の噴水のところに大きな牛を立てる
- ・毎月17日ゴミ拾い
- ・美しいまちづくりを積極的に呼びかける
- ・サインを見直す
- ・汚れた看板の撤去
- ・休めるイスの設置
- ・自主防災組織が必要、強化
- ・街路灯の増設、パトロールの実施
- ・コミュニケーション充実のために挨拶をする
- ・殿町観光地へ並木
- ・樹木の種類や花の種類によって案内するサインとする
- ・サインを町内で手作りして設置
- ・駅前のコインパーキングに少しでも緑を増やす
- ・駐車場に緑地を10%つくる条例
- ・空き家一覧をつくる
- ・空き家の有効活用
- ・空き家、地域の現状調査
- ・空き家を安く賃貸する、行政がコーディネートする
- ・空地を公園にして、休憩所として活用、住民で管理する

- ・ 3人目の子どもが世帯に生まれたら、都市計画税をなくす
- ・ 子どもと高齢者との交流
- ・ 住民協議会で公民館を核にして子育て世代のサポートを始めている
- ・ 住居、仕事、保育所等を準備して若者に住んでもらう
- ・ 水が流れていないと環境が悪くなるので、川に水を流してもらいたい
- ・ 公設ストアを町内に造る
- ・ 歩いて買い物に行ける店をつくる
- ・ 喫煙所を設置して、利用者は募金

●「商」班 ワークショップ意見

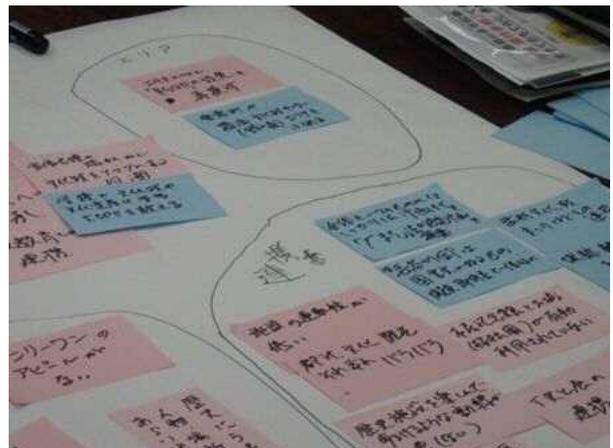
【課題・意見】

- ・ 雨の時、寒い時、暑い時は商店街に行きにくい
- ・ 車の通りが多い
- ・ 買い物客の駐車場不足で路上駐車が発生
- ・ 歩いて買い物している人が少ない
- ・ お店同士の交流が少ない
- ・ ちょっと休憩するスペースがない
- ・ 商店街の通りの幅が広すぎて、車中心になってしまっている
- ・ 店頭の道路に車の横付けが多くて危険
- ・ 松阪中心市街地という名称
- ・ 若者があつまる店舗がまちなかに少ない（例）ファストフード店
- ・ ランチが食べられる飲食店が少ない
- ・ 空き店舗が多い
- ・ 駅前が寂しい
- ・ 店主の高齢化、後継ぎ問題
- ・ 「ここならでは」が見えない
- ・ まち歩きするのに、何の店か分かりづらい
- ・ 入ったことのない店に入りにくい
- ・ まちなかへの動線が見えにくい
- ・ 駅前、ベルタウンなどの寂れたイメージが強い→イメージの悪化
- ・ 店主の高齢化
- ・ 本町通りの空き家対策（今後の観光重点地区と思われるので）
- ・ 商店街の一体化が必要なのでは？
- ・ 買い物は明和イオンに行くことが多い
- ・ 大型店に押されている
- ・ 車の客は国道沿いの大型店に流れる
- ・ ゴミのポイ捨てが増えてきた

- ・外国人は苦手？
- ・外国人観光客が増えてきても対応できない
- ・観光客も対象にした方が・・・

【アイデア】

- ・みんなで挨拶運動
- ・来客の心のケアをすることが大切。人にやさしいまち 心の町松阪
- ・みんなでボランティアしましょ！
- ・たのしいまちづくりを目指したい。個店の魅力を出したい
- ・店をしながら、子どもたちの人生相談をしていこうと思います
- ・まちなか花いっぱい運動
- ・歩道にベンチを増やす
- ・「中心市街地」ではなく、「旧市街」と呼んでどうか
- ・ちゃちゃもに松阪もめんの着物を着せて！
- ・空き店舗規制、対策を行う
- ・特徴を全面に出す
- ・もめんの暖簾などブランディングを考える
- ・入口に値段等の表示をする
- ・プラチナタウンプラン
- ・外国人向けのゲストハウスをつくる
- ・多言語のウェルカムボードをつくる



6. 各班の発表



発表者 「歴史」班です。

大きな課題が何かを考えてみました。どうやってリピーターを増やすのかが一番の課題だと思います。地域の歴史について意識面で、地元の人が知らないことではいけないし、地元の人しか知らないでもダメだと思います。松阪市民全員が関心を持って行動していかないと持続性がないと思います。その一つの方法ですが、偉人さんの副読本を作って学校で教えることはいいことだと思います。

中心市街地にこだわらない宝物探しをする必要があります。市民がいろいろな地域のことを知りお互いに関心を持ちましょう。

もう一つの策は、連携だと思います。豪商だけでPRしようとしても行き詰ると思います。例えば、歴史と食を連携させたり、四季折々の年中行事を考え

て異業種どうしを連携させたり、より魅力の高まるようにしていかなければと思います。

例えば、みなさんは、「姿見の池」はご存知ですか。珍布峠の近くで倭姫命（やまとひめのみこと）が伊勢巡幸の際に、自分の姿を映して、化粧をしたといわれる池です。そういう話をする事で、魅力が高まると思います。地域のボランティアガイドさんも頑張っているのです。そういった連携も大事かと思えます。

また、ハード面について、駐車場がキーになるかと思えます。飯南・飯高の方に割安でいけるようにするなど、幼稚園の昼間動いてないバスを利用するなど策はいろいろあると思えます。

また、外国人をどうやって引き込むかが課題です。松阪市は、松阪もめんがあるので着物を着せたり、兜をかぶせて写真を撮ったりするのもいいと思えます。関西空港で降りた観光客が紀伊半島を経由するのに、勝浦で宿泊し松本峠を歩いて伊勢神宮にきます。そこからセントレアで帰る途中でどうやって松阪に寄ってもらうか。お金はあまりかからないと思えます。

委員長 「歴史」班の発表でした。意見。質問等ありますか。

発表者 市長、中心市街地を国道42号線で切るとかやめましょう。

市長 駅西再開発当時に時に国に申請するのに切ってたので、店舗改装補助金は42号の南も使えます。

Aさん 「豪商のまち松阪」ってキャッチコピーで売り出そうとしていますが、みな

さんは、「豪商のまち」にどんなイメージを持っていますか。それぞれの施設はすごいものがありますが、連携がいまひとつかと思います。これは、旧長谷川邸から出た大判と同じサイズの通行手形ですか、こういうのを使って文化施設とまちめぐりを行ったらどうかと思います。

委員長 いい提案だと思います。

他にありませんか。ないようなので、これで「歴史」班の発表を終わります。

－「住」班－



委員長 それでは「住」班、お願いします。

発表者 「松阪市みんなでまちをきれいにする条例」ができましたが、駅前に緑が少ないと思います。緑を増やすのに、豪商のまちの道案内に木や花などの緑を使って案内をするのはどうかという意見がありました。

空き家が増えてきていますが、危険な建物は、公園や休憩所にする。また、空き家がある程度まとまった土地になれば、都市計画的に活用できると思いま

すが、単独の空き家は、休憩できる所を作ったらどうかと意見ありました。

神道川の問題がでました。神道川は、水が流れていない川で生活排水しか流れていないため、井戸を掘って水を流す方法はどうかと意見もありました。また、その井戸を災害時に使える井戸にしたらいと思います。

また、駅前に駐車場が多くさみしい。駅前ロータリーの牛の像が小さいのでもっと大きいものにするとか、鈴のモニュメントを蒲生氏郷や本居宣長の像にするのはどうかと意見がありました。駅前をもう少し考えてはどうかと意見がありました。

松阪駅に丘を造って公園にして、電車が緑に入っていくようなイメージにしてはどうかと思いました。丘のステーションにして、丘に牛を放ったり、木造の駅舎にしたりすると、全国的に注目されるかと思います。また、駅前駐車場は地下に作ったりすると駅前が駐車場ばかりにならないと思います。

また、高齢化も含めて人が少ない件ですが、私は田舎に住んでいますので車がないとまったく生活できません。近くには高齢化が進んで駅前に住みたいという方もみえます。そういった方の移転が政策的にできれば非常によいかと思っています。

また、豪商のまちもふくめて道路が狭いところもあるので、歩行者に優しくするのに、自転車と歩行者との棲み分けをして、自転車ゾーンをつくる意見がでました。観光客が自転車を使った時にもプランターなどで花のサインを作っ

て案内があれば回りやすいかと思いました。

委員長 ありがとうございます。質問、提案とかありますか。

Bさん 市外の方に聞きましたが、松阪市は公園が多いと言います。自分は350軒
ぐらいの集落ですが、公園は3つあります。しかし、花が植わっているところ
は一箇所しかなく、少ないと思います。お金をかけずに花を増やせられたらよ
いかと思います。

市長 最近、まちづくり協議会で花いっぱい運動をしているところがすごく増えて
きています。各地域で工夫した花・花壇を作っています。例えば、有間野地区
では、人型の花を作っています。まだ、まちなかでは花いっぱい運動が進んで
ないので、商店街と連動してやったらいいですね。

Cさん 花の植え付けや草抜きなども含めて、暑い時期もあったり世話をするのが大
変な部分もあります。

発表者 世話があまりいらぬ花を探さないといけませんね。

委員長 いつもは「住」のテーマでは、子供をどうやって増やすのが出ますが、今回
は出ませんでしたか。

発表者 3人目以降は給付金を出すとか、都市計画税をなくすとか出ましたが、あま
り、そちらで盛り上がりませんでした。

委員長 ありがとうございました。

－「商」班－



委員長 それでは「商」班、お願いします。

発表者 自分は旅行会社の添乗員をしておりましたのでヨーロッパのまちなみでいいなと思うところはいろいろありました。それを踏まえてまちづくりに関わっていきたいと思います。

課題ですが、雨の時や寒い時に商店街に行きにくい。また、駐車場が少ない。月極の駐車場は多いですが、少し離れた駐車場に止めるなら路上駐車をする。路上駐車は、監視員が巡回しにくるので、用事だけ済ませて直ぐ帰るという形になっているかと思います。

商店街の道路の拡張工事以前は、商店街に人の往来があり、活気もありました。目的の店舗で用事を済ませたあと、近くの店に寄って買い物をするというような感じでした。今は、ひいきのお店での買い物が終わったらすぐ帰ろうとなっているかと思います。

元々商店街は、用がなくても来て歩いて見て回っていいところを見つけて買

い物をするというのが魅力だと思いますが、空き店舗が多いこと、駐車場の問題等もあり、そうってないと思います。出たアイデアとして、歩道にベンチを増やす、花いっぱい運動、挨拶運動（観光客に向けても積極的に）も大切だと思います。

また、商店街の店舗でも、いろいろ悩んでみえる方へのケアも必要かと思えます。

今後どういったことをしていったらいいかですが、歴史的な建物も多いです。で、「中心市街地」という言い方ではなくて、「松阪旧市街」と呼ぶのはどうかと意見がありました。

最近の商店街には、子供、学生はほとんど見ませんので、空き店舗にファストフード店や雑貨店の誘致などを考えたらどうかと思います。商店街に若い人が興味をそそるような店舗に入ってもらおうとよいかと思います。

商店街は、入りにくい店が多いということで、入りやすいディスプレイのやり方や、松阪もめんの暖簾をかけるなどの工夫や、商店街づくりが必要だと意見がありました。

商店街のあり方についてですが、今、7つの商店街がありますが、ある商店街では2, 3軒しかなかったり、高齢化の問題で商店街から脱退しなければならないようになっていたりします。7つの商店街を再編も必要かもわかりません。

今は、郊外型大型店に押されていますが、挨拶から初めて、丁寧な接客、魅力ある店舗づくりを考えていかなければならないと思います。

外国人誘致も重要で、彼らの情報力はすばらしいものがあります。SNS など駆使しますので、一度気に入ってもらえればリピーターとして何回も来てもらえます。策の一つとして空き家などをゲストハウスとして運営して安く泊まってもらって、松阪もめんを着てもらって写真を撮ってもらってそれを、SNSなどで情報発信してもらおう。そういったことで観光客が増えるかと思います。

委員長 ありがとうございました。

 質問、提案等ありませんか。

市長 就任当事（7年前）には、松阪のまちなかの駐車場不足がありました。今は、駅に駐車場ができ、パーク&ライドで多く利用されているが、まちなかの駐車場不足が問題になってきています。市民病院では、駐車場不足のためにシャトルバスを運行しています。駐車場のあり方について、どういった解決策があるのか提案いただけたらと思います。

Dさん 「住」の班では、まちなかの地下に駐車場をつくるのはどうかという意見がありました。

市長 電柱地中化でも相当な金額がかかるので、地下駐車場になるとんでもない額になると思います。いい案ですが。

委員長 他にありませんか。

Eさん 去年の氏郷まつりで「まちかどWiFi」をりましたが、あれを整理して観光客の方が気軽に情報発信できるようなものを作っていただければいいかと思えます。

Fさん 駐車場の件ですが、鈴の森公園や、ベルファームに観光客の駐車場と決めて利用してもらうというのはどうですか。

委員長 シャトルバスを運行するということですか。

Gさん まちなかに土地がないですからね。

市長 鈴の森公園の駐車場でさえ空きが少ないと言われています。

委員長 もう地下につくるか立体にするかしかないですね。
松阪公園のグランドも難しいですから、すぐに答えでないので、他にありませんか。それでは意見交流会に移ります。

7. 意見交流会

各班の発表用紙を前に並べる。

委員長 それでは、こちらから質問させていただきます。

 「歴史」班の「**地元の人が知らない**」とは、どういう意味ですか。

Hさん 松阪市は市町村合併で大きくなりました。自分が小さいころに学んだことは、旧市、旧町のことで。今、市域が広がったことで、地元の方も市内のいろいろな観光施設に行つて学ぶことはよいと思う。

委員長 「**歴史拠点としてのカリヨン活用**」について説明をお願いします。

Iさん カリヨンビルは、新上屋跡ということで、碑がなくなっており、見つかつて移設したことがありますが、写真を採る観光客もおります。拠点として駐車場（258台）の利用促進をしていくことが大事だと思います。

委員長 動線確保の意味があると思います。活用が図られるといいと思います。

 それと、「住」班で、「**空き家の一覧をつくる**」の説明をお願いします。

Jさん 空き家の情報を共有できる一覧があればよいと思います。

市長 嬉野、三雲やまちなかでも空き家の話は出てきています。3年ほど前から飯南、飯高地域で空き家バンクを自治会で把握してもらっています。地元の方で写真も撮ってもらってリスト化されています。対応する事業としては、移住の補助金、空き家の改修補助金もあります。今年の3月に全庁的に空き家対策のプロジェクトチームを作り、今後壊れかけている空き家などの対策を行ってい

く予定です。

委員長 「住」班の「駅前**は最近元気**」はどういう意味ですか。

Kさん 居酒屋などがにぎわっていると聞いていますし、自分でもそう思います。

Lさん 飲み屋が増えて、夜でも人がたくさんおり、治安がよくなりました。昼間の店も増えてものにぎわってもらったらとおもいます。

委員長 「商」班に「駅前**がさみしい**」とありますが、先ほどと正反対の意見ですが。

Mさん 飯高の出身なので、学生のころは、松阪は百貨店もあり大きなまちだった。今は百貨店もありませんので、それを考えるとさみしいと思います。

委員長 ありがとうございました。

それでは、行政の生き生きプラン推進委員に前に出てもらいましたので、挨拶をお願いします。

市長 今年の4月の人事異動で、生き生きプラン推進委員になっている4人全員（文化課長、商工政策課長、観光交流課長、都市計画課長）が代わりました。

自己紹介をお願いします。

文化課長 「歴史と豪商のまちづくり推進プロデューサー兼文化課長」というポジションを頂きました。この地域は、松阪の顔になります。いろいろな可能性を持っているところだと思います。今ある大事なものを守っていき、それをどんどん活用していきたいと思います。いろいろな意見も頂いてみなさんと一緒にやりたいと思います。

観光交流課長 飯高の出身で、飯高の振興局におりました。まちなかのことも勉強中ですが、頑張っていきますのでよろしくお願いします。

商工政策課長 以前は、市役所 1 階に席がありましたので、みなさんから直接話を聞かせていただくことがありましたが、商工政策課は 4 階ですので、あまり話を聞かせていただくことが少なくなりましたので、今日いろいろお話をきかせていただき本当に良かったと思います。

都市計画課長 中心市街地のまちづくりについて、10 年 20 年先にどういったまちになったらいいのか、一生懸命努力していきたいと思います。

委員長 この 4 人が、今日言ったことと違う行動をとれば、あの時こう言ったと指摘を受ける覚悟をしてください。

今日は、「歴史」「商」「住」3つのテーマで発表がありましたが、共通することは、縦のつながりであったり、横のつながりであったり、ネットワークだと思っています。

人のつながりということで、普段であれば行政が前に出てもらって挨拶をもらう必要はありませんが、今回は挨拶してもらいました。

行政は P R 下手だと思います。業務に汗を流すのは当たり前だと思います。中には血を流している人もいます。そういったところに目を向けて一緒に市民とコラボレーションの中で行政の施行をしていきたいと思っています。

行政の施策に市民の意見が反映されるということもみなさんに知ってほしい

と思っています。

市長に聞きたいこと、言いたいことありましたら、挙手をお願いします。

市長 今日、飯南であった住民協議会の発表ですが、午後からは400人の参加もありすごく盛り上がりました。みなさん各地域のまちづくりにすごく関心をもっています。

ところが、まちなかのことを考える会には、人があまり集まらないです。これは行政側の責任もあるかと思いますが、各団体ももっとまちなかについて関心をもってもらいたいと思います。介護、福祉関係は関心が高いですが、観光、まちづくり関係については、関心が低いので、色々なグループに呼びかけて、もっと参加してもらえるように考えていかなければいけないと思います。

委員長 その対策はありますか。

市長 ここに参加しているみなさんの声かけで関心を持ってもらう。行政側も各種団体に声かけしたものの力不足のところがありません。各担当も改めて声かけもすると思いますが、多くの方に関心を持ってもらうのは、行政だけでは出来ませんので、意識付けから始める必要があるかと思っています。

Nさん 松阪は、豪商のまち（三井、長谷川家）だけではないので、それを中心として盛り上げていくことはよいが、オール松阪で考えなければいけないと思います。

また、コンパクトシティを考えていかなければならないと思います。

委員長 コンパクトシティの話がでましたが、いろいろな方法がありそれがすべてではないと思います。

 みなさんは、電車に乗ってきて松阪駅を出た時にどうと思いますが、自分たちが住む松阪ですが、なにかいい案はありませんか。例えばタクシーの乗り場に柵を作って牛を放すとかどうですか。牛の後ろをナイフで削っても次の日になればそれも治って、全然減らないとか、何かありませんか。

 先ほど空き家バンクの話がありましたが、空き店舗のことや、レンタサイクルのことなど商工会議所の方から何かありますか。

商工会議所 空き店舗の情報は、市と連携してHPで中心商店街のエリアの情報を発信しております。また、駅前の松阪市観光協会の方でレンタサイクルなど扱っております。

市 長 三越のことも関心あると思いますので、米田の方より説明させていただきます。

米 田 産業経済部の米田です。

 市長から三越についてとの話ですが、苦戦している状況です。三越の出店は全国でいろいろありますが、松阪が他と違うのは三井の発祥地です。一つは、商業ベースだけでなく「暖簾返し」を突破口にして条件を一つ一つ潰して進めていきたいと思っています。

 みなさまからいろいろな知恵を拝借して進めていきたいと考えております。

また、今後は、市では観光交流拠点を整備していきます。松阪もめん手織りセンター跡地に観光交流拠点の本館を整備し、旧長谷川邸横の大手通沿いに別館を整備する計画となっています。今、悩んでいるのが観光交流拠点の運営です。いかにして、観光交流拠点を盛り上げていくかが課題になってきます。新しい観光施設を造るのではなく、今ある観光施設を繋げていく企画力が必要になってきます。

市内の郊外に住んでいる自分が小さいころは、まちなかに来ることを同じ松阪に住んでいるのに「松阪行ってこう」言っていました。昔は、松阪のこの地域には魅力があったが、いろいろなものが複雑に連携していたと思います。今その連携を考え直してもらうことで活気が出てくるのではないかと思います。

委員長　　生き生きプラン推進委員会は、市民と市役所のコラボレーションで運営しています。みなさんのご意見を市政や自分たちの活動に生かしていきたいと思えます。

最後に市長よりお言葉をもらいます。



8. 総評・閉会

市長 本日は、長時間にわたりお疲れさまでした。

さまざまな交流の機会が持てることを嬉しく思っています。今年4人の課長が代わりましたが、飯南、飯高、三雲なども周辺地域との連携がもておる体制になっています。また案件は文化、観光、商工、都市計画でコミュニケーションも取りながら進めています。

三越は、暖簾返しをしたいと強い思いをもっていますが、課題は用地がないことです。双方ともにやる気はありますが、苦戦をしております。また、みなさんからも多様な意見も頂きたいと思えます。

本日はさまざまなお意見いただき、感謝申し上げます。

委員長 長時間に渡り参加いただきましてましてありがとうございました。

これで“豪商のまち松阪”を考える市民交流会を終了させていただきます。



ハード面

駐車場が
少ない

①の確保

歴史拠点としての
カリヨンの活用
(バーキングも)

歴史的な所が沢山
ありながら団体客を
受け入れられる(バス)
駐車場がない。

カリヨン①
を有効活用
する

意識

地元の人
が知らない

注

次世代への
継承

言語も境の
隔れなど
文化財をYマツル
風潮

中心市街地に拘
ない宝物持し
PR

学校で文化財や
文化遺産の学習
大切さを教える

② 訪問リビ-7-の
確保

新ルート
の充実
リビ-7-を増
加

エリア

エリア
「新追加の施設を
再検討

多治町や
藤西文化財センター
(管轄) ITを
活かす

高商: 糸井地区
(伊勢商人登壇)
山添町: OO?

資源

本物を見せる

オニリーワン
の
アビニムが
多い

パワースポット
の
発見

歴史に
うもれた
人物・場所の
あふり出し

松坂からうきと
おき
大新小新基しを
活用
して歴史を
かみめた
松坂のPR
か出来た

松坂らしさをわかり
やすく表現できる
か沢山欲しい

連携

「史と念の
連携活用

本居記念館と
お城
(程松園)が
有効
利用
されていない

歴史施設を
楽しんで
歩けるような
動線が
必要(知)

歴史
拠点の
認識
を
どう
せん
作り

年中行事の
利用
(長后川節)

近形文化財
「リビ-7-」
の
連携

異種
の
連携
(例) 丁史と自然

城跡
整備
計画
を
いそぐ

施設の
連携
性
を
高め

長谷川節は
国史文の
おぼの
城跡
御供と
一緒

都市
文化
観光
の
連携
「らうらう」

全体
と
一
部
との
連携
「た
まら
げ」
の
歴史
を
活用

松坂
再
行
手
形
で
大
更
張
を
こ

学校教育
との
連携

歴史的な施設を
巡って
おぼの
感
のある
周
遊
券
の
よ
う
な
もの
が
あ
ると
良
い。

PR

入館者数
が
少
な
い

外国観光客の確保
例: 松坂木綿
男: 〇 + カジヒ

歴史
G

住

以前に比べて、飲食店が増えた
駅前1F 最近元気が注

毎月17日 ゴミ拾い
道路がきれいになった。

赤道が少なかった
自転車道路が
朝の交通量が49%

市内の喫茶店を集約する(出前)
駅前ホテルが増えた
松阪駅前D-4カ、牛が小さい。
駅前の噴水、木々を植える。

ゴミが少なかった
美しい町並りを積極的に呼びかける
サインを見直す
汚水、看板の撤去

防火上、道路がせまい。
組織の弱体化
自主防災組織が必要(強化)
休みの場所が少ない
休日も荷物の運搬

松阪駅 特色がない
駅前、子銀、銀行本店の移転を招く
木造駅舎
駅を丘(公園)スタイルにして、午を

緑が少なかった
駅前観光地へ
樹種でサイン
ポランタン(花)で歩道サイン
サインを町内で手作り設置
駅前前のコンパニオン、駐車場を増やして、10%作る

治安はいい
スラム街行化、子、治安の悪化、街路燈の増設、パトロール
パトロールが必
ゴミステーションの充実を図るために「あかさか」をする。

観光における人の出入りが少なくなった
人はやさしい

緑が少なかった
喫煙場所を設けて、利用者は暮金。
他の町と同じ建物
人通りが少なかった
特に夜は地元住民の往来が少なかった

空き地が増えた
空家、空店舗が増えている。
空屋等の有効活用
空屋の調査、現状把握
公営休所新設
空家を公営化、住民が管理する。

買物難民
公営ストア設置
公設ストアを作る
歩いて買物に行ける店が必要

店へ住んで、人がいらない?

空家の土着化、活用方法を考える
空家を
環境を作る
空家を安く貸出し、仕事。
行政がサポートする!
若者に住居、仕事、保育所等を用意して住んでもらう!

子育て支援、子どもを以て離れ、ドーナツ化現象!
3人で住むにはドーナツ化現象!
都市計画税を減らす!

二の中心区域に人を定着させる
子育ての観点で、親子2世の低所得層の継続に苦心する町内が多い。
こどもと高齢者との交流
住民協会で公民館棟には子育て世代の世代が10代始まっている

神道川下流が定期的に洪水でいじられる
水を流すようにしたい!
下水道の未整備が原因で多い。

着

雨の時、寒い時、暑い時は、商店街に行きたい。

駐車場の問題
歩道の交差点は、歩行者の安全が第一

毎日の生活が、商店街の通行人の生活に支障をきたしている。

みんなが、挨拶運動

来客の増加と、商店街の活性化

みんなが、ボランティア活動しよう!

駐車場の問題? 車の通りが多い

買物客の負担軽減 (歩道の拡充)

店頭の道路に、車の横付けが多い

歩いて買物をする人の減少

相子横断の安全を、確保して、歩行者の安全を確保

個人店の魅力を、引き出す

自転車、バイク、スクーターが多い

歩道に、ベンチを増やす

花壇が、花いっぱい運動

若者が集まる店舗が、少なくなっている。DX、ファーストストリート等

中心地から、駅前まで、歩行者が歩けるようにする

空き店舗が多い

駅前が、賑わっている

1. 空き店舗の活用
2. 空き店舗の活用

1. 空き店舗の活用
2. 空き店舗の活用

中心地の中心地、歩行者の安全を確保

駅前中心街って? 駅前、旧市街と中心街の歩行者

千代田千代田、駅前も歩行者が着る!

駅前、歩行者の安全を確保

空き店舗、店舗増大

徒歩、街中の歩行者が増える

入札の多い店舗、入札の少ない店舗、まち歩きには、店舗の活性化、二二五五五五が、見える

入り口に、値段等の表示をする

歩道の拡充、歩行者の安全を確保

買物は、明和や、近所へ行く事が多い

大型店に、押し込まれている

車の普及、国道沿いの店舗

ゴミのポイ捨てが、増えている

外国人人口、苦手? 外国人観光客が、増えてきている

観光客も、増えている

外国人向けの、サービス、メニュー

多言語の、メニュー、サービス